

次の5つのがん検診は、死亡リスクを減らします

検診を受けることで死亡率を減少させることが、科学的に証明されています

胃がん検診

胃がんは50歳代以降に罹患する人が多く、胃がんの死亡者数は男性3位、女性5位です。（2024年）

検査方法 バリウム検査（40歳以上79歳以下）または **胃内視鏡検査**（50歳以上、隔年実施）

精密検査 ①胃がん検診（バリウム）の場合は **胃内視鏡検査**
②胃がん検診（内視鏡）の場合は **検診時に生検**（組織を採取し悪性かどうかを調べる検査）または **胃内視鏡検査の再検査**

推奨される受診頻度 2年に1回

こんな時は検診を待たずに医療機関へ 胃の痛み、不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合

大腸がん検診

大腸がんは罹患する人が増加しており、大腸がんの死亡者数は男性2位、女性1位です。（2024年）

検査方法 便潜血検査 **精密検査** 第一選択は **全大腸内視鏡検査**

推奨される受診頻度 毎年1回

こんな時は検診を待たずに医療機関へ 血便、腹痛、便の性状や回数に変化したなどの症状がある場合

便潜血検査とは がんやポリープなどの大腸疾患があると大腸内で出血することがあり、その微量な出血を検出できる検査です。出血は継続的なものではなく止まったりすることもあるため、2回分の便を提出することになっています。

肺がん検診

肺がんの死亡者数は男性1位、女性2位で、男女合わせて最も多いがんです。（2024年）

検査方法 肺のレントゲン検査 **精密検査** CT検査 または **気管支鏡検査** など

推奨される受診頻度 毎年1回

こんな時は検診を待たずに医療機関へ 血痰、長引く咳、胸痛、声のかれ、息切れなどの症状がある場合

喫煙と肺 喫煙者は非喫煙者と比べて男性で約4倍、女性では約3倍肺がんになりやすく、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほど、そのリスクが高くなります。受動喫煙も肺がんのリスクを2〜3割高めめます。

乳がん検診（マンモ）

乳がんは、女性がかかるがんの中で最も多く、がんによる死亡原因の上位に位置します。

検査方法 マンモグラフィ **精密検査** マンモグラフィ追加撮影、乳房の超音波検査、細胞診、組織診などを組み合わせて実施

推奨される受診頻度 2年に1回

こんな時は検診を待たずに医療機関へ しこり、乳房のひきつれ、乳頭から分泌物がある、乳頭の湿疹やただれなどの症状がある場合

検診とブレストアウェアネス ブレストアウェアネスとは『乳房を意識する生活習慣』のことで、がんの早期発見に重要な習慣です。定期的ながん検診に加え、日頃から自分の乳房をチェックし乳房の変化に気をつけること、異変に気付いたらすぐに医師に相談することが推奨されています。

子宮頸がん検診

子宮頸がんは女性がかかるがんの中で比較的多く、30〜40歳代の女性で近年増加傾向にあります。

検査方法 子宮頸部の細胞診 **精密検査** コルポスコピー検査（またはHPV検査）

推奨される受診頻度 2年に1回

こんな時は検診を待たずに医療機関へ 月経以外に出血がある、閉経したのに出血がある、月経が不規則などの症状がある場合

子宮頸がんの原因と対策 子宮頸がんの原因のほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）への感染であることがわかっています。若いうちはHPVワクチンの予防接種を、20歳を過ぎたらがん検診を受けることが重要です。予防接種は小学6年生〜高校1年生相当の年齢の方は公費で無料で受けられます。

すべての検診には「デメリット（不利益）」があります。がん検診で必ずすべてのがんを見つけられるというわけではなく、がんであっても「異常なし」と判定されたり（偽陰性）、がんでなくても「要精密検査」と判定される場合（偽陽性）が、低い確率ながら起こりえます。

しかし、**上記の5つのがん検診は、これらの低い確率で起こるデメリット（不利益）よりも、がんで亡くなることを防ぐメリット（利益）が大きいことが証明されています。ぜひ定期的に受けてください。**

「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。

検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は市町村と医療機関（※）とで共有されます。

※がん検診を実施した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は、がん検診を実施した医療機関にも精密検査結果が共有されます（医療機関の検診精度向上のため）

出典：国立がん研究センター がん対策情報センター

【問合せ先】北名古屋市保健センター TEL:0568-23-4000 FAX:0568-23-0501

こころの健康 ～ひとりで悩まないで！誰かと話してみよう

こころ・
からだの悩み

＊保健センター

☎ 0568-23-4000 FAX 0568-23-0501
平日 8:30～17:15

＊愛知県清須保健所

☎ 052-401-2100 (代表)
FAX 052-401-2113
平日 9:00～12:00、13:00～16:30

＊名古屋いのちの電話

☎ 052-931-4343
毎日 24時間

＊あいちこころほっとライン365

☎ 052-951-2881
毎日 9:00～20:30

＊あいちこころのサポート相談 (LINE)

LINE ID @aichi_soudan
月～土曜日 20:00～24:00 (最終受付23:30)
日曜日 20:00～翌月曜8:00 (最終受付7:30)

＊よりそいホットライン

☎ 0120-279-338
毎日 24時間

＊ビフレンダーズ あいち自殺防止センター

☎ 052-870-9090
毎週金曜日 20:00～23:00

子ども・若者

＊こども家庭課 (こども若者支援センター)

☎ 0568-22-1111 (代表)
FAX 0568-23-3150
平日 8:30～17:15

＊子育て支援課

☎ 0568-22-1111 (代表)
FAX 0568-23-3150
平日 8:30～17:15

障害について

＊社会福祉課

☎ 0568-22-1111 (代表)
FAX 0568-23-3150
平日 8:30～17:15

＊社会福祉協議会

☎ 0568-25-8500
FAX 0568-26-2731
平日 8:30～17:15

＊ケアサポートセンター七彩

☎ 0568-25-0631
FAX 0568-25-0631
平日 9:00～17:00

DV相談

＊こども家庭課 (65歳未満の場合)

＊高齢福祉課 (65歳以上の場合)

☎ 0568-22-1111 (代表)
平日 8:30～17:15

高齢者の方

＊西部北地域包括支援センター

☎ 0568-54-1113 平日 8:30～17:15
石橋・中之郷・宇福寺・北野・法成寺・
鍛冶ヶ一色・徳重・弥勒寺・山之腰

＊西部南地域包括支援センター

☎ 0568-54-5571 平日 8:30～17:15
九之坪・加島新田・野崎・沖村・西之保・西春駅前

＊中部地域包括支援センター

☎ 0568-21-1733 平日 8:30～17:15
鹿田・久地野・二子・井瀬木

＊東部地域包括支援センター

☎ 0568-27-2751 平日 8:30～17:15
熊之庄・六ツ師・片場・高田寺・能田・薬師寺

あなたもなれる！

ゲートキーパーとは？

ゲートキーパーとは「命の門番」という意味で、大切な人や身近な人の悩み、“心のSOS”に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援に繋げて見守る人のことです。身近な人で気になる人がいたら「最近どう？」「眠れてる？」と声をかけてみましょう。



メンタルヘルスチェック 「こころの体温計」

あなたやご家族のこころの健康を確かめてみませんか？不調が続く時は早めに医療機関や専門家に相談しましょう。

◎こころの体温計ご利用について
利用料は無料です（通信料は自己負担）
自己診断をするためのもので、医学的診断をするものではありません。

※携帯・スマホ

※パソコン
<https://fishbowlindex.jp/kitanagoya/>



※「こころの体温計」は株式会社エフ・ビー・アイが管理運営しています。